

## 社行動指針

- 全員で確かな品質をつくり込み  
お客様に満足される商品を届けよう
- 柔軟な発想と全員の方で  
更なる飛躍を実現しよう
- 全員で考え実行し  
クリーンで快適な職場をつくらう



第105号

(新春)

岡山県倉敷市船穂町水江 1424

水菱プラスチック株式会社

電話 (086) 552-3153

発行責任者 菱沼 孝緒

<http://www.suiryo.co.jp>

(足高神社 大絵馬)

取締役社長  
加治 貞雄

2018年

を迎えて

謹賀新年

皆さん、あけましておめでとうございます。ご家族の皆様とともに、良いお年を迎えられたことと思います。

さて、昨年を振り返ってみますと、北朝鮮のミサイル発射・核実験による挑発行為が一層強まり、武力衝突が起きてもおかしくない状況が日ごとに高まっています。対話による解決に向かつてほしいものです。衆議院選挙では自民党の圧勝に終わり株価も高騰を続け二六年ぶりにバブル崩壊後の高値を更新しました。しかしながら好景気の実感はないようです。自動車業界では、「EV」「自動運転」がクローズアップされました。EVが将来のエコカーの主役になると見て各社はEVシフトを本格化させました。家電メーカーのダイソンもEVに参入するなど競争激化が予想されます。自動運転にはIT企業が参入してきました。自動車メーカーが将来も主役とは限らないかもしれません。

水菱においては、岡崎事業所で九月から新型SUVエクシプロスクロスの生産を開始しました。水製では、十二月に生産が終了したギャランフォルティスに代わり、RV Rの岡製からの生産移管を開始する事になりました。生産台数も十六年度の十九万台から十七年度は二四万台まで回復する予定です。昨年、水菱にとって将来を左右する重要な車種の受注競争を控えている事をお話ししたいと思います。一つは、水製で生産している軽次期車の受注獲得です。もう一つは、岡製で生産しているアウトランダー次期車の受注獲得です。

設計開発力、コスト低減提案力など、水菱の持てる力を結集して受注競争を戦ってきました。結果、二車種とも予定していた部品を獲得する事ができ、売上増に大きく貢献していくことになります。そして受注した新型車は将来の経営基盤を強固にしていく柱になると確信しています。

新型車の受注環境は、三菱自動車が日産のアライアンスメンバーになって大きく変わってきました。今後は仕事のやり方も日産方式にシフトして行くと思えますが変革への対応をお願いします。

海外関係では、インドネシアでのパジェロスポーツ、新型MPVエクスパンダー、中国でのアウトランダー、フィリピンでのミラーージュ等、海外生産車の立ち上がり技術支援を行ってきました。今後も海外支援は継続しますの対応をお願いします。

今年、岡製ではエクシプロスクロスの生産VUP増対応、水製では岡製からのRV Rの確実な生産移管、そして日産から受注した軽四次期車の立ち上がり控えており、まさに水菱の将来に向けて基礎強化の大切な年になります。これらの大きなプロジェクトを、確実に一つずつ完遂し中期経営計画の達成に向けて邁進しましょう。

最後になりますが、これら諸施策の完遂には、自分自身とご家族の健康と安全は欠かす事はできません。社員皆さんとご家族のご健康とご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。



# 2017年 水菱 10大ニュース

- 1 RVR 岡崎製作所から水島製作所へ生産移管
- 2 新型 SUV 『エクワ スクロス』 で岡崎初となる  
インパネ・ドアトリムの生産を開始
- 3 日産向け SUV のリヤスポ イー生産開始
- 4 日産自動車から軽次期車の主要部品を受注
- 5 日産自動車と軽次期車のプロジェクトがスタート
- 6 エクワ スクロスに続き岡崎生産のアウトランダー-次期車の  
インパネ・ドアトリムを受注
- 7 日産自動車からサプライヤー評価 (ASES) 認定を取得
- 8 インドネシア生産車 新型 MPV 『エクスパ ンダー』  
の現地サプライヤー支援開始
- 9 水菱主要生産車 キャンパ フォルティスの生産終了
- 10 中期経営計画 『Renovation 2020』 の  
活動がスタート

## QCサークル発表大会

十一月二十三日に第六十四回を迎えたQCサークル発表大会が社内社外より大勢の方々が参加していただき、活発な発表、有意義な開催となりました。各ブロック選抜の5サークルが発表し不良低減活動、業務改善等をテーマにし苦労話を交えながらの成果発表となり全員熱心に聴講していました。



- 金賞 内装課 インパネ8サークル (近本 孝太)
- 銀賞 組立課 ドア Assy サークル (文箭 徹)
- 銅賞 開技課 リサーチサークル (須山 寛生)



加治社長より近本社員へ表彰授与

## 本社・吉備工場防災訓練

十一月二十四日に本社工場二十九日に吉備工場において防災訓練を実施しました。各訓練は想定出火場所及び訓練実施日時をあらかじめ公表しない形式で実施し、火災の発見から初期消火・連絡・通報・避難・誘導・消火栓を使った消火訓練等火災発生時の対応についての一連の動作を確認しました。また、訓練終了後には、地震・津波警報発生時の各自の行動及び避難ルートの説明を行いました。



吉備工場

本社工場

## 真備・船穂商工祭

十二月三日(日)に船穂公民館において、年末恒例の『真備・船穂商工祭り』が開催されました。今後も地域の行事に参加し、地元の方々と交流を深め、盛り上げて行きたいと思えます。



大盛況の「焼き鳥」「フランクフルト」水菱ブース

## 消火技術訓練大会

倉敷の消火技術訓練大会が九月二十九日に開催され、波多野社員(内技課)と多賀社員(総務課)が男女ペアで消火器男子の部に出場しました。日頃の練習の成果を発揮し六位入賞しました。



## 年末年始無災害運動

スローガン 『異常なし!』  
ダブルチェックで念入りに  
年末年始もゼロ災害  
一月十五日まで年末年始無災害運動期間中です。  
・管理職による特別パトロールの実施。  
・連休中の無災害運動。  
・交通事故の撲滅。

